

令和元年度 学校自己評価書

学校名	和歌山市立吹上小学校
校長氏名	柏野 貴之
作成日	令和2年 2月21日

1 教育目標

新しい時代を切り拓く、心豊かでたくましい人間を育成する

2 本年度の取組についての評価

	確かな学力の向上	豊かな心の育成	健やかな体の育成	地域とともにある学校
指標	<ul style="list-style-type: none"> ・県学習到達度調査で正答数が県平均を上回る。 ・毎日の勉強が分かる(児童95%) 	<ul style="list-style-type: none"> ・学校が楽しいと感じる(児童90%) ・学校や社会のきまりを守っている(児童90%) ・いじめ解消率(100%) 	<ul style="list-style-type: none"> ・給食の時間が楽しいと感じる(児童90%) ・積極的に運動を行うよう計画し、場を整備した(教員90%) 	<ul style="list-style-type: none"> ・学校の様子がよく伝わった(保護者90%) ・中学校区で接続、連携した取組を具体的に実践できた(教員90%)
重点目標	<ul style="list-style-type: none"> ◎基礎・基本の確かな定着 ◎子ども主体の授業の推進 ○読書活動の推進 	<ul style="list-style-type: none"> ◎道徳・人権教育の充実 ◎いじめの未然防止、早期発見 ○仲間づくりの実施 	<ul style="list-style-type: none"> ◎体力向上の推進 ◎基本的生活習慣の確立 ○危機回避能力の育成 	<ul style="list-style-type: none"> ◎コミュニティスクールの取組充実 ◎幼小の接続、中学校区における学校間連携の推進 ○地域の資源活用の推進
具体的な取組の状況	<ul style="list-style-type: none"> ○学級担任全員が算数または人権の研究授業を行った。(全11回) ○自分の考えを書く時間を大切に授業づくりを行った。 ○漢字の博士試験に全校で取り組んだ。 ○昨年度に引き続き、全校で人形劇(文化芸術による子供育成事業)を鑑賞した。 ○図書委員会が中心となって読んだ本を紹介し合うなど、読書活動を推進した。 	<ul style="list-style-type: none"> ○いじめアンケートを2回実施し、いじめの未然防止・早期発見・早期対応に努めた。 ○情報モラル研修会を、5・6年生対象に2月に実施した。 ○1年生の「生き物と仲よし」2年生の「命の授業」を、ゲストティーチャーを迎えて実施し、命を大切にすることを学んだ。 ○なかよし(縦割り班)活動による掃除や遊びを、年間を通して計画的に実施した。 	<ul style="list-style-type: none"> ○家庭と連携して、早ね、早起き、朝ごはんをはじめとする児童の基本的生活習慣の確立に努めた。 ○給食の時間が楽しみになるよう、食育に関する掲示を工夫し、ラッキー人参等のイベントも企画実践した。 ○地震津波、火災を想定した避難訓練を実施した。 ○なかよし活動での練習を通して、校内マラソン大会、長縄とび大会を実施した。 ○学校保健安全委員会を、学校医・薬剤師、第3学年児童、保護者代表の参加のもと実施した。 	<ul style="list-style-type: none"> ○春と秋に2日間、学校一日公開日を設け、授業や行事等を公開した。 ○学校は各種たよりを定期的に発行し、各学年は毎月、各学級は毎週、学校の様子について家庭に知らせた。 ○ゲストティーチャーによる研修など、外部の方の協力をいただいた学習の機会を多く設定した。 ○皆様のご協力により、ベルマーク点数の累計が2月に500万点の大台に達した。
指標の検証結果	<ul style="list-style-type: none"> ・県学習到達度調査で、どの学年のどの教科も、正答数が県平均を上回った。 ・漢字の博士試験第2期の合格率は54%であった。 ・毎日の勉強が分かると思っている児童は94%であった。 ・学校は分かりやすい授業を工夫していると考える保護者は94%で昨年より7ポイントアップした。 	<ul style="list-style-type: none"> ・学校が楽しいと感じる児童は94%であった。 ・学校や社会のきまりを守っていると感じる児童は91%であった。 ・学校はいじめをなくすことに取り組んでいると考える保護者は78%で昨年より5ポイントアップした。 	<ul style="list-style-type: none"> ・給食の時間が楽しいと感じる児童は92%であった。 ・積極的に運動を行うよう計画し、場を整備したと考える教員は95%であった。 ・学校は子供の安全確保に取り組んでいると考える保護者は88%で昨年と同じであった。 	<ul style="list-style-type: none"> ・学校の様子がよく伝わったと考える保護者は87%で昨年より5ポイントアップした。 ・図書ボランティアや校外学習の引率等で、地域の人にお手伝いいただいた。 ・幼稚園や中学校との接続に留意した取組を実践するよう努めたと考える教員は100%であった。
次年度に向けての改善方法	<ul style="list-style-type: none"> ・教材研究等の授業準備に時間が割けるよう、他の校務の整理に一層努めたい。 	<ul style="list-style-type: none"> ・児童の規範意識のさらなる向上を目指し、温かみのある落ち着いた学習環境を構築していきたい。 ・何でも相談し合える雰囲気大切に、児童同士、児童と教員の人間関係を醸成していきたい。 	<ul style="list-style-type: none"> ・全国体力・運動能力調査の結果における、県平均または全国平均を5ポイント以上下回るスコアの種目を、さらに10以上減らしていきたい。 ・一定の運動量を確保するための場の設定を、体育の時間においては特に大切にしていきたい。 	<ul style="list-style-type: none"> ・学校の働き方改革をふまえ、勤務時間等を保護者に通知したが、さらに広く周知したい。